

縄文雪まつり 2024～縄文LOVE大集合！～ 開催結果

- 日時：2024年2月3日(土)11:00-19:00、2月4日(日)10:00-17:00
- 場所：チカホ北3条交差点広場
- 主催等
 - ・主催：北の縄文道民会議
 - ・共催：北海道、函館市、遠軽町、北海道縄文のまち連絡会
 - ・後援：札幌市
 - ・協力：道立埋蔵文化財センター、北海道中央バス(株)、縄文LOVEな皆さん
- 主な内容
 - ・出土品展示（3点）、縄文リレートーク（20団体）、ブース（10団体）
- 入場者数
 - 約10,200人
- 目的と成果

(1) 世界遺産登録2周年記念

世界遺産登録のパネルを展示するとともに、リレートークでは、道内の世界遺産のあるマチ（6+1遺跡）の学芸員が遺跡について紹介しました。

(2) 2つの国宝と札幌出土の土偶

2007年、北海道初の国宝となった「中空土偶」につづき、2023年6月に国宝指定された遠軽町の「北海道白滝遺跡群出土品」のお祝いPRとして、2つの国宝（複製）を並べて展示するとともに、函館市長、遠軽町長のメッセージ動画の上映、函館市と遠軽町によるブース展開やトークを行いました。新たな北海道の文化的魅力として、2つの国宝を多くの方々に伝える場となりました。札幌市内で出土したN30土偶（通称イケメン土偶）も注目を集めました。

(3) 縄文LOVEな皆さんとともに作り上げ、輪が広がる。

2021年夏の世界遺産登録時は、コロナ禍による制約があり希望するスタートを切ることができなかった中、改めて関係者、学芸員、縄文をテーマに活動する団体や市民グループなどが一堂に会し、喜びを分かち合い、一緒にこのイベントをつくりあげました。

ブース参加者、縄文リレートークの参加者同士が互いの活動を知り交流を深め、新たな連携を模索する場面もありました。

(4) 道内外の観光客や多くのみなさまに縄文をご紹介

さっぽろ雪まつり開幕前日・初日であったことから、多くの道内外からの来場者がありました。また、縄文ファンの方々も多く訪れ、途切れることなく賑わいました。



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク

2日間休憩をはさまず、専門家、地域の学芸員、縄文をテーマに活動している皆さんが次々と登壇し、30分ずつ（ゲストは1時間）のリレートークを行いました。合計20組の熱いトークに、会場は常に満席で幾重にも立ち見のお客様がいるステージも多くありました。

11:00 オープニング

主催者挨拶：北の縄文道民会議
荒川裕生代表



共催者挨拶
北海道 塚田みゆき文化局長
函館市 大泉潤市長（動画）
遠軽町 佐々木修一町長（動画+本人登場）



ブース展開の縄文LOVEな皆さんをご紹介

11:30 縄文DOHNNANプロジェクト

縄文紙芝居つくったよ！函館からお届け～

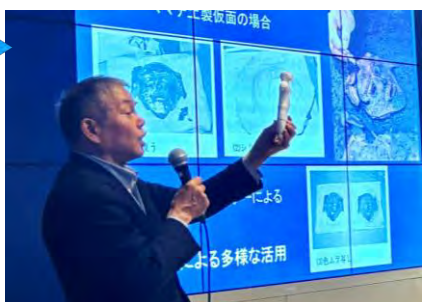
函館市を中心に道内で活動する皆さんから、8か国語の紙芝居や、カックー被り物、縄文ダンスなど様々な取組をまとめた動画が届きました。上映の間、函館市や渡島振興局の皆さんが、来ることができなかったメンバーに代わって応援していました。



12:00 道立埋蔵文化財センター

解説！国宝「カックウと白滝遺跡群出土品」

今回の2つの国宝（複製）展示は、江別市にある同センターの協力をいただきました。長沼孝所長に、2つの国宝の魅力や複製の作り方、併せて札幌市N30土偶についても、興味深い解説をいただきました。



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク（2月3日・つづき）

12:30 ドニワ部 種田梓
「北の縄文さんぽ」製作こぼれ話

ビッグな「どぐるみ」ちゃんと登壇した種田さんは、ドグウとハニワを愛する大人の部活「ドニワ部」の代表。昨夏出版した著書を紹介しながら、縄文の楽しみ方や、多岐にわたる活動、くすっと笑える裏話などをお話いただきました。



13:00 教えて當瀬規嗣先生！
縄文時代の衛生事情

ゲスト

テレビのコメンテーターや新聞コラムでお馴染みの札幌医科大学・當瀬規嗣教授。縄文人の寿命や感染症を防ぐための暮らしぶり、水の大切さ、トイレ事情に至るまで、専門の見地から楽しく考察いただきました。



14:00 いるば28（ショートムービー）
サトウアイキ、海を渡る
～合掌土偶に逢いたい～

陶芸で縄文グッズを生み出す障がい者施設「いるば28」。そのメンバーの一人が、病気を克服し大好きな「合掌土偶」に逢いに行くドキュメンタリーがこの日、初公開。上映後、主役のサトウさんと田村健所長のトークショーを行いました。



16:00 染谷商会 × 北海道文化服装専門学校
縄文手ぬぐいコンテスト

昨年、両者のコラボで実現した「縄文の手ぬぐいコンテスト」。企画した染谷有香さんと、入賞した学生の佐藤さんと島山さんが作品への思いを語りました。手ぬぐいは、旭川の水野染工場で本格的に染められすでに商品化されています。



15:00 国宝指定記念！遠軽町
黒曜石で石器づくり（実演）

旧石器人並みに石器づくりが上手い瀬下学芸員さんが、黒曜石の塊から矢じりをつくる実演。千歳市の直江さんの進行のもと、石やシカの角を使ってどんどん割っていく様子を会場の皆さんは食い入るように見つめていました。



14:30 世界遺産のマチから（函館市）
世界遺産と国宝のある街
HAKODATE

野村学芸員さんの解説のもと、大泉市長メッセージ動画、垣ノ島と大船遺跡の解説、南茅部高校生によるVR紹介動画、カックウをモチーフにした動画2本を次々と上映。最後に、縄文スイーツを加藤さん、藤田さんが楽しく紹介しました。



16:30 石狩振興局環境生活課
縄文LOVE feat. いしかりゼロカーボン

縄文担当の高橋さんと、ゼロカーボン担当の林さん。縄文の暮らしは環境にやさしいをテーマに、ブースでの縄文×環境おみくじや、ゼロカーボン宣言などをPR。YouTubeで配信中の「石狩振興局ニュース・縄文編」5本を上映しました。



17:00 チーム観光（石狩・胆振・渡島振興局）
知ってるかな？プレゼントあたる縄文クイズ

初日のラストは、世界遺産の遺跡がある石狩・胆振・渡島の3振興局の観光担当の皆さんが合同で、縄文クイズを展開。缶バッジづくりもできるブースも大人気。広域連携のもと、縄文をテーマとした周遊観光がより人気になりそうです。



【1日目終了】

フリーアナウンサー・山口由美さんが、司会としてぶつつづけで盛り上げてくださいました！



◆ぶつつづけ！縄文リレートーク（2月4日）

11:30 世界遺産のマチから（千歳市）
キウス周堤墓群と発掘

豊田さんから、キウス周堤墓群の発掘調査の様子を紹介した動画を上映いただき、時折、画像を止めながら、具体的な状況や調査の概要を解説。まだわかっていないことが多いのに、世界遺産登録となったキウス周堤墓のナゾにせまりました。



12:00 北海道縄文のまち連絡会・伊達市
世界遺産だけじゃない！北海道の縄文

永谷さんは、道内の遺跡のある市町村で構成されている「まち連絡会」の立場から、北海道には1万2千を超える遺跡があることを紹介。さらに伊達市にある北黄金貝塚の魅力楽しく語っていただきました。



12:30 世界遺産のマチから（洞爺湖町）
ルート37に注目！入江・高砂貝塚

角田さんは、内浦湾をぐるりとめぐる国道37号線沿いには、たくさんの遺跡が並び、遺跡巡りが楽しめること、そのうち入江・高砂貝塚の魅力について紹介。最後に画面に出されたQRコードを会場の皆さんが読み込み楽しんでいました。



14:30 世界遺産のマチから（森町）
北海道最大のストーンサークル！
鷲ノ木遺跡

片山さんからは、駒ヶ岳が見える北海道最大の環状列石の概要や発掘の様子をご紹介します。遺跡を保存するために遺跡の下に丁寧に掘った高速道路のトンネル工事の様子にみなさん驚いていました。



14:00 札幌市埋蔵文化財センター
N30遺跡の土偶の魅力にせまる

榊田さんからは、札幌市西区の遺跡で出土した土偶の発掘の様子や身体の様、同じ時期の各地の土偶などについてお話いただきました。「イケメン土偶」と呼ばれ親しまれているこの土偶は、会場展示でも大人気でした。（展示は複製）



13:00 縄文太鼓奏者 茂呂剛伸さん
縄文の音色を1万年先の未来へ

茂呂さんの縄文魅力トークの後、3人の仲間とともに、土器にシカ皮をはった縄文太鼓の演奏で縄文の空気を表現いただきました。チカホの音量制限の中、すばらしい演奏、じゃんけん大会などで会場は大盛り上がりでした。



ゲスト

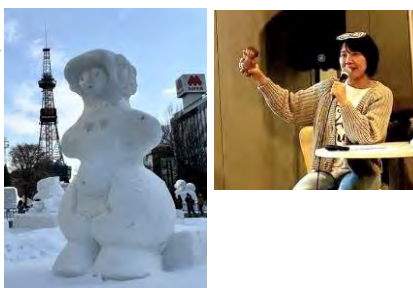
15:00 教えて阿部千春先生！
国宝・カックウのすべて

カックウの育ての親とも言われる道庁縄文世界遺産推進室の阿部特別研究員。カックウ発見時の様子、国宝指定への道のり、病院でCTスキャンを撮る際のエピソード、丸と三角でできた文様など、愛情たっぷりに語ってくださいました。



16:00 札幌雪偶プロジェクト
市民の広場に白い土偶が出現

毎年、縄文をテーマに雪像を作るグループの山内絵理代表が登場。四角い雪の塊から、今回の「縄文のピーナス」が完成するまでの苦労や楽しさ、これまで制作したカックウやしゃこちゃん、イケメン土偶などもご紹介いただきました。



16:30 札幌国際大学縄文世界遺産研究室
ココロコ？コレナニ？縄文クイズ

最後は、札幌国際大学の渡井瞳さんから、楽しくちょっとマニアックな縄文クイズ！遺跡にあるのに、見過ごしている大切なものやクスッと笑える15問がテンポよく出題。参加者には賞状とクッキーなどが贈られました。また遺跡巡りを！



ゲスト

◆わくわくマルシェなど、会場は2日間、大賑わいでした。

会場には、縄文グッズや縄文スイーツなどの販売やワークショップを行うブースが並び、多くの来場者が楽しみました。縄文には、市民活動や環境、観光、商品化など多岐にわたる広がりがあり、改めてその深さを実感できました。また、多くの皆さんや機関のご協力により、サイトやSNS、ポスター掲示などで告知や賑わいの様子をお伝えいただきました。

《ブース出展》ドニワ部合同（ドニワ部、タネダアズサ、忠太郎商店、nina、イタベリ縄文部）、染谷商会（半人半蛙）、縄文クリエイターズ、いはば28、札幌国際大学縄文世界遺産研究室、函館市、函館スイーツ推進協議会、遠軽町、石狩振興局環境生活課、チーム観光（石狩・胆振・渡島振興局）



◆ドニワ部合同ブースは、土偶・埴輪ファンで大賑わい。
◆札幌国際大学ブースでは、ワークショップいろいろ。



◆いはば28ブース。クオリティの高さにびっくり。



◆遠軽町ブースでは、黒曜石をPR。グッズ販売も。



◆黒曜石パネルの前で、佐々木遠軽町長と戎谷・道民会議常務

◆函館スイーツ推進協議会ブース8種類の縄文スイーツを持ち込み、両日とも売完！



◆石狩振興局環境生活課ブース縄文 x ゼロカーボンで、500人以上の来場者が自分の取組を宣言。



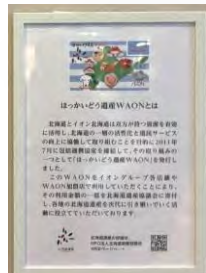
◆3振興局の観光ブース縄文DOHNNANプロジェクトの土偶被り物でPR



◆JOBONのバックナンバーも配布しました。



◆閉会式戎谷・道民会議常務が、みんなで作り上げた縄文雪まつりに感謝を述べました。



◆イオン北海道の「ほっかいどう遺産WAON」の助成で実施しました。



◆月間クオリティ3月号には2日間の賑わいが掲載されました。